

町政を質す

ただ

中村 忠行 議員

- ① 危険空き家への対応を
- ② 今後の公共施設のあり方は

大場 洋介 議員

- ① 頻発する災害等への対応強化は
- ② 観光戦略と地方創生は

須藤 典夫 議員

- ① 町単独補助の考えは
- ② 情報収集の強化

沼澤 道也 議員

- ① 慰霊祭には多数の参加を
- ② これからの町平和教育の考え方は

五十嵐 優一 議員

- ① 異常気象時の対策は
- ② 災害時の被災者対策は

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは報告や説明を求めるなどの政策議論の場である。

町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。



なかむら ただゆき
中村 忠行 議員

問 公共施設計画の再編を

答 利活用状況を考慮し再検討

ない施設は維持管理経費を考慮し解体・処分も必要となる。

東北芸工大に業務委託し、役場周辺の利用が少ない公共施設や空き家を現地調査や関係者へのヒアリングを実施し、より望ましい形での利活用案を提案いただき、地域振興施設も含めた各施設が有効に機能し十分に利用されるよう取組みたい。



危険空き家への対応を

中村議員 空き家対策として適宜行政代執行を進める考えは。

環境整備課長 本来所有者が適正管理すべき事業と考える。

まずは所有者等への助言・指導を実施し危険空き家等が周辺住民の生命若しくは身体又は財産に重大な損害を及ぼす危険な状態が発生した場合や発生しそうな場合は、必要に応じた応急措置や特定空き家の該当基準を考慮し行政代執行も視野に入れながら空き家対策を進めたい。

今後の公共施設のあり方は

中村議員 公共施設の利活用再編と新規施設計画の方向性は。

総合政策課長 今後活用が見込まれ



おおば ようすけ
大場 洋介 議員

問 町防災計画の定期的な強化を

答 平時からの要支援者等への個別避難計画を策定

頻発する災害等への対応強化は

大場議員 身近な災害リスクを再確認し、現状での防災・減災対策への課題や対応は。

町長 町の特性・脆弱性を踏まえ必要な施策が課題。高齢者や障がい者など支援が必要な方を把握し、安全に避難できるように個別避難計画の策定を考えている。

大場議員 災害発生の可能性に関して、複合災害のリスク回避策は。

町民税務課長 今年度新たに19河川の浸水想定区域図が追加され、ハザードマップの更新作業を実施している。大雨と地震などの状況判断で、適切な避難誘導を行う必要がある。

大場議員 災害時に被災地で使えるトイレやキッチンカーなどの災害対応車両登録制度への対応は。



町単独補助の考えは

須藤議員 5年間の計画が達成された認定農業者には町単独の上乗せをし、5割補助となる積極的な支援策を。

産業課長 経営改善計画の目標達成者への国県補助金に対しての高上げ補助について、大型の農業機械購入に伴う補助率が2分の1と優位性もあるため、他自治体の状況把握に努め、少し時間をいただき、目標達成者への町の高上げ補助について検討していきたい。

情報収集の強化

須藤議員 新たな農業の取組（スマート農業、田んぼダム等）も多岐にわたっている。販売形態についても農協出荷に止まらず、産直、海外販売等と多様化しているが対応を。



問 農業者への支援強化策は

答 長期的視点で「守りを固める」

産業課長 政府は米生産拡大に大きく方針を転換することになり、27年度の新たなコメ政策に向け、具体的な助成金制度や米生産拡大に向けた方針が示されるものと思われる。町の対応としては情報収集及び集荷事業者との調整や農業者への周知等に努め、引き続き着実な支援を進めていく。